



11月11日
日曜日

オモテ

号外⑤

世の人は我を何とも言わば言え

我なす事は我のみぞ知る

遂に人が機械化!!

マスクミは嘘しかつかない!!

キャッシュレスに伴いチップ埋め込みへ!

進む人類サイボーグ化計画

丸丸系テレビ番組『やりすぎ都市伝説』の2017年9月29日の放送の中で、体の中、特に手の部分にチップを埋め込んで、そこに内蔵されたバーコードを読み取って、ドアのセキュリティロックを解除したり、自販機で買い物したりすることが、すでに企業単位で行われていることを紹介していました。

自動販売機用のソフトウェアを開発している米ウイスコンシン州の『スリー・スクエア・マーケット』も、「マイクロチップ」を人体に埋め込む技術を社員に提供しています。

マイクロチップを体内に入れた人は、その社内では、手をかざすだけで入室ができ、自販機が使える、コンピューターにログインもできます。

応じた社員は約半数でした。社員の半分がチップを入れる、まさにこれは異常事態です。しかし実はこうした企業が、世界中で増えています。



現金を使わず、『キャッシュレス』

が最も進んだ国・スウェーデンでは、通貨発行権を持つ中央銀行までもが、積極的に通貨のデジタル化を行っています。そのためスウェーデンでは、「体内埋め込み型マイクロチップ」が、電車やオフィスの入室管理などに利用され始めています。

『スウェーデン鉄道』は世界で初めて、乗客の体内に埋め込まれたマイクロチップを、乗車券の代わりに利用できるシステムを2017年5月から導入しているのです。

脳へのチップ埋め込み?

2018年の初めに、国家規模に匹敵するロケット打ち上げを成功させた『スペースX』、そして『テスラモーターズ』を営むイーロン・マスクという人物は、「人間の脳にチップを入れる日も近い」と語ります。

イーロン・マスクが進める「脳のチップ導入」では、人間が脳で考えたことをコンピュータ・AIシステムと、ダイレクトに共有することです。これは『Facebook』CEOのマーク・ザッカーバーグが開発に取り組んでいる「脳から考えをダイレクトに出すシステム」と同じ目的です。

イーロン・マスク氏は、「脳へのチップ導入を、レーシック手術くらい手軽で、安価にしたい」と語っています。イーロン・マスクは言います。「来るべき未来を生き残るために人間はサイボーグ化する必要がある」と…。

テレビの人間機械化誘導!?

先ほどご紹介した『やりすぎ都市伝説スペシャル 2017秋』という番組の最後では、「Mr. 都市伝説」と関曉夫氏も、自身の体内にチップを入れて、会場を驚かせていました。

【ウラへ】

機械を人間化！？

ロボットが宗教行事する時代へ！



11月11日
日曜日

ウラ

号外⑤

始末に困る者でなければ

天下の大業は成し得られぬなり

ペッパーに死者の引導を渡せるか？

関暁夫氏が手にチップを埋め込んだ際、ナレーションでは、「アップグレードしました」と流れていました。関暁夫氏はこう語ります。「新たな価値観、新世界秩序を受け入れなければならない。10年前、20年前、皆さんは携帯を持っていると、思っていましたか？それと同じです。昭和の世代は(チップを)入れなくても、絶対に娘さん(子供)、孫の世代には、(チップを)入れている。」彼がこう語ると、周囲の出演者も「そうだ」、「その通りだ」と納得し、頷いていました。また関暁夫氏は、ネット上に動画をあげて、その中で、イーロン・マスクと同様に、「脳へのチップ埋め込み」を推奨しています。

あるいは『スキリ！』『ワイドナショー』といった情報番組などでも、体内にチップを入れることが紹介され、「体内のチップ埋め込みについて、『あり』か『なし』かのアンケートが行われましたが「あり」が2に対して、なしが3」となっていました。

このように、すでに人間の機械化は始まっているのです。まさに全人類は今、「チップ埋め込み」に向けて、たしかに、少しずつ、動きはじめています。

人間が機械化していくおかしな時代は、同時に、「機械を人間化させよう」と目論む狂った時代でもあります。

実のところソフトバンクロボティクスが販売事業を手がけるヒト型ロボット「ペッパー」は、店舗などの案内係りとして導入が進んでいるものの、さらに進化を見せています。

なんとこのロボットのペッパーが、葬式の導師を務め、読経をし、木魚を叩き、説法までしてくれるというのだ。ペッパーは説法で次のように述べる。「昨今、人間の質ってというのが右肩下がりにずっと下がっている今の時代ですが、その根本が一体なにが変わってしまったかということ、この先、多分……」



もっと詳しく知りたい方は



『金融詐欺のカラクリ』
～実はアナタも被害者～

